

山行報告書

神戸勤労者山岳会

1. 参加者

中塚 (CL)、西口、服部、別府

2. 山城／ルート

北アルプス／奥大日岳

3. 交通手段

自家用車

4. 行動記録 <入山日：2022年4月30日（土）>

4/29 20時神戸発－26時立山駅駐車場（車内仮眠）

4/30 7:30 立山駅－9:00 室堂－10:10 雷鳥荘－10:50 室堂乗越－12:30 奥大日岳 13:10
－14:15 室堂乗越－15:20 雷鳥荘（宿泊）

5/1 悪天候 8:30 雷鳥荘－9:10 室堂－11:00 立山－17:00 神戸

5. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a) 予定のルート・日程で行動出来たか？

室堂に到着した時点でテント本体を車内に残してきたことが判明。急きょ宿泊できる小屋を探し、雷鳥荘が予約できた。それ以降は好天に恵まれたこともあり、写真撮影などで多くの休憩を取りながらも、想定通りの時間で予定ルートを歩けた。

b) 事故に繋がりそうな要因（ヒヤリハット）が発生したか？

発生した場合、具体的に記す

上記の通り、室堂まで上がった時点でテント本体のないことが判明した。宿泊ができなければ本来は山行そのものが成り立たず、重大な問題（ヒヤリハット）であると認識する。

c) パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか？

テント本体を持ってこなかった問題をメンバーで検討した。要因は以下の点であり、リーダー、担当者とも重大性を十分に認識し、大いに反省をした。

- ・車両担当（CL）が共同装備全てを会から持ち出し、現地でメンバーに分配するとした。
- ・全員が揃った場で CL は共同装備の分配を指示せず、またメンバー一人ひとりに装備を持ったかの確認をしなかった。
- ・担当者も車を離れる時点では必ず共同装備を持つという明確な認識がなかった。
- ・車中泊からの起き抜けに切符購入の列に交代で並んだため、ザックを持って車を離れるタイミングがばらばらになった。
- ・最後に車内に残置が無いかの確認ができていなかった。

6. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す

・雷鳥沢から室堂乗越へは夏道ではなく、トラバース気味に上がって行くトレースがつけられており、我々もこれをたどった。入山時、室堂の登山指導所にも確認したが、この時期はこのルートで問題ないとのことであった。

・みくりが池から雷鳥沢の間で雷鳥を三度見た。多くの人が写真を撮っていたが、特に逃げていく様子はなかった。



剣岳

7. 感想

<服部>

早朝雨が降っていましたがケーブルであがると快晴☀️

室堂でテント本体がない事が発覚して、一時はどうなる事かと思いましたが当日宿を予約できてホッとしました。その後は快晴&風なしの好条件だったので奥大日岳へスムーズに登ることが出来ました。奥大日岳からは凛々しい劔岳、後ろには立山三山、遠くに白山や槍ヶ岳などなど、360度の絶景を堪能。宿泊は雷鳥荘。温泉&布団でしっかり寝れました。リーダーの中塚さん、企画&運転ありがとうございました。別府さん西口さんもお疲れ様でした。

<西口>

奥大日岳への稜線は絶景でした。眼下には弥陀ヶ原をうねるように貫くアルペンルートがくっきり。間近に見える劔岳はだいぶ黒々しく、堂々たる山容。

私自身は久しぶりのアルプスだったのか、がっつり高山病の症状が出てしまい、ホロ苦気分の山行になってしまいました。夏の劔に向けて、気持ちを奮う良いきっかけになりました。ご一緒下さった皆さま、ありがとうございました。



立山三山

<別府>

共同装備であるテント本体の担当であったにもかかわらず、持っていませんけど・・・のカミングアウトはケーブルとバスを乗り終えて到着した室堂。。。皆様、大変申し訳ございませんでした。たまたま宿泊地が見つかったものの、これが場所によれば致命傷になる重大な事件になったかと思うと猛省致します。

それ以外につきましては快晴の中での山行にて、劔岳やら白山やら槍やら穂高の方々まで見る事ができる素晴らしい日となりました。中塚LD、西口さん、服部さん、お誘い頂き誠に有難うございました！ほろ苦い味を感じながらも心にグッとささる思い出深い山行となりました。

<中塚>

上記のとおり、リーダーとしてはテントの件は大反省をしています。二度とこのようなことがないよう、肝に銘じました。

さて今回は雷鳥沢でののんびりテント泊にはならなかったけれど、メンバーとお天気のおかげでとても楽しく、とても面白い春山になりました。

地下の取調室での自炊も楽しかったです。

メンバーの皆さん、ありがとうございました。

報告者氏名：中塚文教 2022年5月4日(水)



奥大日岳



奥大日岳登頂



B氏、土下座、反省の図